古文の基礎知識　～月の異名と古時刻～

一　月の異名

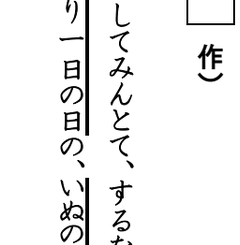
『土佐日記』冒頭　（　　作）

男もすなる日記といふものを、女もしてみんとて、するなり。
それの年の、しはすの、二十日あまり一日の日の、いぬの刻に門出す。

男性も書くという日記というものを、女性の私も書いてみようと思って書くのである。
その年の、　月の、　日、　時頃に出発する。

★一行が出発したのは…

何月	何日	何時頃
しはす	二十日あまり一日の日	いぬの刻
↓	↓	↓
月	日	時頃

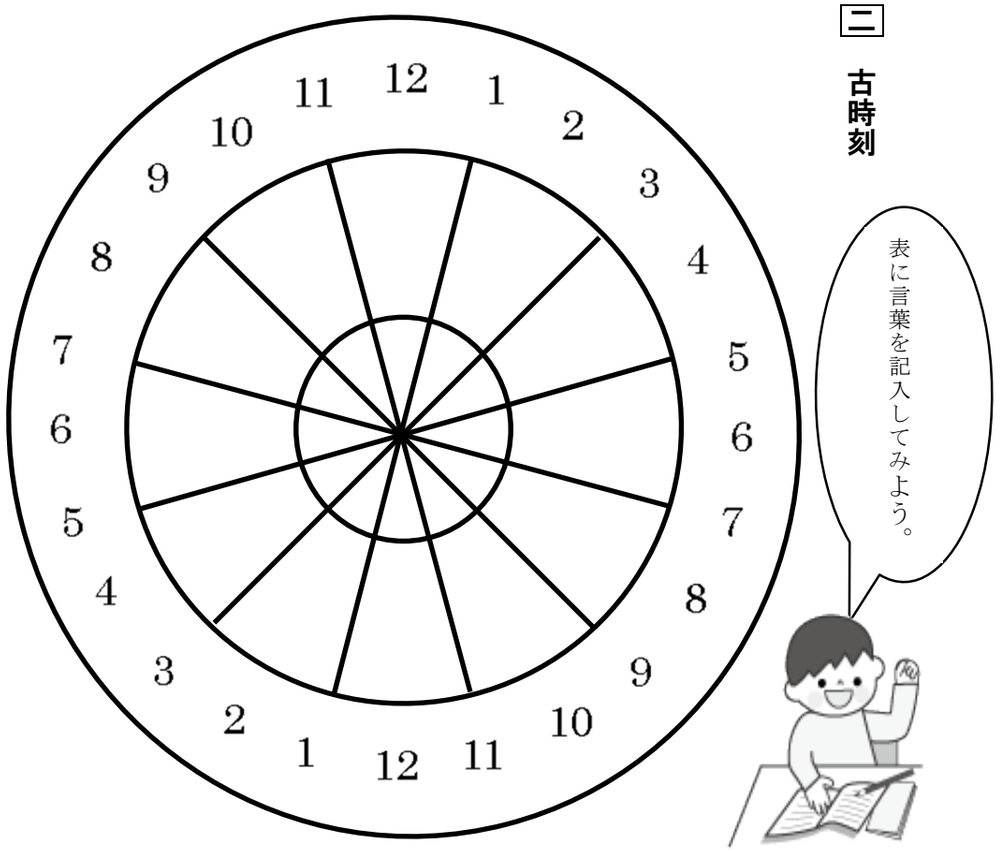


[　　]		
三月	二月	一月
弥生	如月	睦月
[　　]		
六月	五月	四月
水無月	皐月	卯月
[　　]		
九月	八月	七月
長月	葉月	文月
[　　]		
十二月	十一月	十月
師走	霜月	神無月

暦の移り変わり

江戸時代以前「太陰暦（太陽太陰暦）」
一ヵ月…二十九日と三十日
⇦
明治時代以降「太陽暦」
一ヵ月…三十日と三十一日
（約一ヵ月の差）

二　古時刻



子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥